

第3回大川小学校・熱川小学校等統合準備会会議録（要旨）

- 1 日 時 平成29年11月21日（火）19：00～ （20：15閉会）
- 2 場 所 東伊豆町立図書館2階視聴覚室
- 3 出席者 須藤裕文、進士 真、佐藤泰志、力石和彦、横山尋司、太田輝美、
星野正雄、小倉伸一郎、柚田雅敏、岩室憲兒、鳥澤善久、野口康子、
稲葉 保、太田正一
（出席委員14名、欠席者：野崎元廣、稲葉宣明）
教育委員会：黒田種樹教育長、坂田辰徳 （傍聴者：1名）

4 あいさつ

◎須藤裕文会長（熱川小学校校長）

本日はご出席いただきありがとうございます。第2回のこの会合が7月25日でしたので、4か月ぶりの会合となります。それぞれの担当ごとに準備が進められておりますので、本日はその進捗状況を確認するとともに皆様からご意見をいただき、より良い統合、そして新生熱川小学校の開校につながる会になるようよろしくお願いいたします。

◎黒田種樹教育長

本日はご出席いただきありがとうございます。ただ今会長からお話がありましたとおり第2回は7月25日、第1回目は4月28日でしたので、そこから半年、皆様に準備の話し合いを進めていただいております。遡りますと大川地区と熱川地区の皆さまには統合の関する色々な話し合いを行わせていただき、ご意見をいただいて現在に至っております。残すところあと4か月となりました。色々な面で準備や子供達の事を考えていただきここまで来ております。沢山の事を形作っていただきましたし、あともう少し協議して詰めていかなければならない事もあります。今回ともう1回2月に開催の予定ですが、子供達のために新しい教育の形の準備をさせていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

5 議 事

(1) 大川小学校・熱川小学校等統合準備について

① 各準備すべき事項の進捗状況の報告と課題の検討

この会の進め方として、資料：「大川小学校・熱川小学校等統合準備について（平成29年11月21日現在）」に示した項目毎に、この4か月の間に行われた準備等の状況について、あらかじめ説明と報告を行い、その内容について、各委員よりご意見・ご質問・ご提案をいただきながら、今後必要となる準備や作業について確認していく事とした。

※以降、《ご意見等》、《今後の作業等》の欄で、◆で始まるものは委員からの進捗状況の報告やご意見を記載、*は教育委員会事務局の回答や検討状況等を記載します。

1 学校行事（交流）等について（担当：幼稚園長・主任、小校長・教頭）

《小 学 校》

- | | |
|---------|------------------------|
| ○3月1日 | 小学校1日交流実施 |
| ○6月20日～ | 大川小水泳事業実施（5日間） |
| ○6月27日 | 小学校1日交流実施 |
| ○9月15日 | 小学校1日交流実施（授業参観・懇談会も実施） |

- 10月19日 熱川・大川両小学校合同遠足 *雨天中止
- 1月29～31日 小学校3日交流(予定)

《幼稚園》

- 9月 幼稚園1週間交流実施
 - 10月 幼稚園1週間交流実施
*10/5 熱川幼稚園運動会(大川幼稚園児も参加)
 - 12月 幼稚園1週間交流(予定)
- ※幼稚園では、上記以外にも交流を予定。(年間約90日)
保護者交流も2回開催

*黒田教育長より

9月15日の小学校1日交流では、登下校を実際に近い形でスクールバスの運行を行いました。7:15大川を出発し、7:30少し前に熱川小に到着。熱川小の児童とほぼ同じ時間に登校できました。また、熱川小児童と一緒に朝運動を行うこともできました。

授業の様子については、3月と6月の時には多少緊張した面も見受けられましたが、今回はさほど緊張した様子もなく、大川の児童が発表をする場面も見受けられ、両校の児童が同じ雰囲気の中で授業を受けていました。大川小の先生が担当する授業もありました。

下校については、低学年と高学年に分けて2便運行する予定でしたが、この日は、保護者の参観日・懇談会も行われたことにより、15:00に全児童下校となり、また、保護者と帰る子等もいましたが、学校ではその一人一人の行動を把握した中で名簿を作成し、その名簿をバスの運転手に渡して確実な下校を実施しました。

下校も登校と同じく11～12分で大川農協前に到着し、児童はそれぞれ帰宅しました。

《ご意見等》

◆熱川小佐藤教頭より

登下校のスクールバスの運行については、別紙3「登校時・下校時の連絡方法」のとおり実施しました。この日は、欠席者はなかったですが予定どおり連絡を行い登校することができました。下校については、先程の教育長の報告にもありましたとおり、通常とは違う形となりましたが、人数の把握等確実に行うことができました。緊張感を持ち行うことで今後確実に実施できるのではないかと感じています。

◆大川小で行われていた教育活動を熱川小に引き継ぐことについて
(熱川小佐藤教頭より)

7月29日に学校統合会議を開きました。その中で、生徒指導・学習指導・教育課程等について、大川小で取り組んでいる事を話していただき、その中で熱川小で取り組めることはないか検討を行っています。

現在、両小学校の教務担当同士で来年度の計画を立てています。
次回の会議でその内容を報告します。

2 統合準備会について(担当:小校長、教育委員会)

- 第1回(4/28)・第2回(7/25)・第3回11/21、第4回は来年2月に開催

- 予定。また、必要に応じた開催も検討。
- 会議録（要旨）を作成し、町HP等でも公表していく。
- 《ご意見等》
- ※特になし
- 《今後の作業等》
- *会議録の公表と各委員への配布。

3 P T A活動について

（担当：両園・両校の P T A 運営委員会、P T A 担当教職員）

- 次年度以降の新たな組織について協議・検討
 - ・規約の改正・活動事業（奉仕作業等）・協定服について（リユース等）
- *幼稚園・小学校ともに規約（会則）や活動事業等について、前回の準備会までに確認済み。

ただし、小学校の大川地区役員については、児童数的には1名の地区役員となるが、複数体制の方が心強く、31年度への引継もスムーズに行えることから2名の選出も視野に入れ検討中である。との報告を前回いただいた。

幼稚園については、30年度は、これまでの熱川幼の規約に沿った形でP T A運営を行う。また、大川地区役員選出も少ない人数からの選出は難しいため、本年度より活動にも参加していただき、関わりを持つ機会は作っていることから、30年度は選出しないとの報告をそれぞれいただいている。

《ご意見等》

◆大川小力石教頭

12月上旬にこの準備会のP T A部会を開催し、会則・役員信任投票等を行う予定です。その内容を次回報告します。

*教育委員会より

協定服については、大川小保護者からの要望により、町で準備する。但し、熱川小で行われている協定服のリユース活動を充実させる目的であるため、貸与するものである。また、12月議会に補正予算を提出することを説明した。

◆現在、大川幼稚園年長児である来年度新1年生の分も町で準備するのか。

*町で準備します。統合に関わって、新たな出費が出る大川地区の皆さまへの配慮として行うものです。但し、単純に買い与えるということではなく、初めは、大川の児童に貸与しますが、利用できなくなったら返還していただき、熱川小の全体の子供達が今後のリユース活動で利用できる協定服として準備します。

《今後の作業等》

- 次年度以降の組織編制の具体案協議と方向性の確認（継続）
- 次年度以降の奉仕作業等 P T A 活動案協議と方向性の確認（継続）

4 閉園・閉校記念誌、記念品制作について

（担当：教育委員会、大川幼主任・大川小教頭、P T A 代表）

- 別紙1「大川幼稚園・大川小学校閉園閉校記念誌制作について」に基づき、準備状況を報告した。

《ご意見等》

◆閉校記念誌と記念品の発注数と誰に配布を予定しているのか。例えば、来賓には必ず渡されると思うが、保護者はどうなのかといったところを教えてください

*記念誌は、式典参加者と大川地区全世帯に配布できるよう 500 部発注しております。記念品は、園児・児童全員と先生方、式典参加者に配布できるよう 200 個発注しました。式典には大川地区の皆さまにも広く参加していただきたいと思っています。配布に関する詳細については、検討中です。

◆記念誌や式典資料の中で、「校歌」としているが、大川小のこれまでの先生方・卒業生は校歌ではなく、「光あふれる」であると思っている。例えば、学校行事でも「校歌斉唱」ではなく「光あふれる斉唱」としている。この曲を作った方もそう言われており、伝統として残っているので、校歌とすると違和感を持つと思います。

*これまでの大川小学校の伝統に合わせた表記や使用を行います。

《今後の作業等》

※引き続き記念誌・記念品の制作準備を行う。

5 閉園・閉校式典について

(担当：教育委員会、大川幼主任・大川小教頭、PTA 代表)

○別紙 2「大川幼稚園・大川小学校閉園閉校式典について」に基づき、準備状況を報告した。

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

※引き続き式典に向けて準備を行う。

6 大川幼・小の備品・文書処理について

(担当：教育委員会、大川幼主任、大川小教頭・事務)

○移動・整理（廃棄）備品の確認（備品台帳との照合、他校要望品の調整）

○大川小跡地利用との関係

○図書の整理

○文書処理（文書管理規定の確認）

○備品及び文書の移動・廃棄作業

○給食費等金融機関との調整

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

○備品台帳照合、移動備品確認・検討（園主任、小教頭・教科主任・事務）

※熱川幼小、町内園小中、町内教育施設、大川区・町の順に利活用備品を検討し、移動・残留・廃棄準備を行う。

○文書管理規程確認（教育委員会）

○耐火鉄庫内整理・確認（大川幼主任、大川小教頭）

7 教育課程、学習指導、生徒指導について（担当：両園・両校）

- 教育課程（教務主任）
 - ・両園両校擦り合わせ：本年度実施内容、次年度計画等
- 学習指導（研修主任）
 - ・両園両校確認：研修内容（基礎学力等）、各教科学習状況等
- 生徒指導（生徒指導主任）
 - ・両園両校確認：学校のきまり、地区会、児童会組織等
- *前回の準備会において、大川小保護者の皆様が気にかけている、有事の際の学校の対応について、「熱川小学校安心安全のための危機対応マニュアル」（別紙）を学校のきまり等を踏まえ熱川小須藤校長より報告済み。
- 《ご意見等》
 - ◆この統合で現在の大川小学校の先生方についてですが、できれば熱川小学校に赴任していただくことはできるか。
 - *これまでの大川地区での説明会でも保護者よりご意見をいただいております。できる限り多くの大川小の先生方が、子どもと一緒に移動ができるように、人事を担当している県教育委員会に要望を行っています。これから来年度の人事の話し合いが行われますので、できる限り多くの先生が配置されるよう強く要望していきます。
 - 我々としても子供達が安心できるものと思っておりますので、努力します。
- 《今後の作業等》
 - ※引き続き、より良い統合に向けて検討する。

8 通園・通学バスについて（担当：教育委員会・園・学校）

- 交流計画の中で実際にバスを運行し、運行方法等検討
- *別紙3「登下校時児童通学バスへの欠席（遅刻）・乗車人数連絡方法」により、9月15日の小学校1日交流で実施した。来年の1月29日～30日の3日間交流でも同じく実施する予定。
 - ※内容については、「1 学校行事（交流）等について」の中で報告したものと同一。
- 《ご意見等》
 - ◆1月29～30日の交流では、北川の児童もバスを利用するのか。
 - *来年度4月から同じように北川地区の児童にもバスを利用してもらう予定です。
- 《今後の作業等》
 - ※1月の3日間交流でも「別紙3」のとおり実施し、検証を行う。

9 大川小学校跡地利用の検討について（担当：町）

- 町企画調整課と大川区において、協議・検討中
- *平成27・28年度に行われた大川地区説明会で出されたご意見の確認。
 - ①幼稚園であった部屋は、交流の場・遊びの場として残せないか。
 - ②グラウンドを子供達が安全に遊べる場として残してほしい。（公園整備）
 - ③新たなコミュニティの場として残してほしい。
 - ④公民館として利用（避難地・避難場所としてはこれまでどおり。）
- 《ご意見等》
 - ◆提案ですが、大川小学校の1教室に地域の方や卒業生が、大川小の思い出を感じられる部屋を作ってはどうか。

◆今後の大川小校舎の管理はどこが行うのですか。

*これもまだ決まっておられません。町がそのまま管理する場合や指定管理をお願いする場合などいくつかの方法があります。

10 保護者・地域への説明会開催について（担当：教育委員会）

○4月13日 熱川幼・小PTAに対し実施

○4月26日 大川幼・小PTAに対し実施

○6月1日 地域説明会開催

○9月22日 地域説明会開催

*別紙4-1、4-2 説明会記録参照、今後1回（2月）開催予定

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

※計画のとおり、2月に説明会を開催する。

11 その他

◆1回目の時にも話しましたが、新生熱川小学校の開校式典はどのような形で設けられますか。

*入学式の中で新しい開校セレモニーとなる内容を盛り込みたいと考えています。学校と子供達に負担が少ない形で行えるよう検討中です。また、相談させていただきます。幼稚園も同じように考えています。

◆体操服という物は、大川と熱川は同じですか。違う場合は統一した方が良いですか。

*若干の違いはあります（熱川はワッペンがある）が、これまでの大川のもの使用で構わないと思っています。

◆ワッペンなどは大川小PTA会費で賄えると思っています。

◆この場は、大川と熱川の統合について話し合いを行っていますが、町全体の学校の統合など将来的な展望も大変気になっている。現時点での概要を知りたい。

*町では、町全体の学校教育のあり方を検討するために学校教育環境整備委員会を設置し、27年度から検討を始めました。検討する中で大川幼小の現状や今後の見通しがクローズアップされ、まずは大川幼小について考えなければならないとの意見から、大川と熱川の統合について大川地区と話し合いを行い、その内容を基に「統合が望ましい」との中間答申が行われました。引続き全体の学校教育について検討が行なわれ、出された最終答申では、二つの方向性が示されました。一つは、中学校の教科指導体制や部活動の課題解決のため、中学校同士を統合する。小学校と幼稚園については、できる限り家庭・地域の近くで子供達が学ぶことが望ましいため現状を維持する。そしてもう一つは、熱川・稲取両地区それぞれに小中一貫校を作り、それぞれの地域の中で学ぶことができる新しい学校教育環境を整えるといった内容が出されています。どちらにするかは、現在、町及び教育委員会において検討を行っている状況です。

◆中学生のスクールバスの利用についてお願いですが、例えば、警報が解除され、10時までに登校となったが、伊豆急行は止まっているといった場合、大川・北川の生徒もスクールバスを利用できませんか。

*今回のスクールバスは、国の補助金をいただき購入するため、目的以外の利用には制限があります。但し、学校教育活動での使用は認められているところもあるため、可能かどうか確認します。

◆前回、中学生の通学費補助について、町は検討されていると伺いましたがどうですか。

*町長の考えは、30年4月からと時期を限定したものではなく、今後、中学生の通学費支援も町として必要、という考えを聞いております。但し、いつの段階でどうという話はできません。このお話は再度町長に伝えます。

*この会の会議の内容を整理した上で、会議録を作成し、町HPに掲載します。引き続き、教育委員会及びそれぞれの機関において準備をお行い、その結果報告や新たな課題の検証を行うため、次回は2月に開催したいと思っております。よろしく申し上げます。

6 閉 会 (進士 真副会長 大川小校長)

本日は、長時間にわたり熱心なご協議ありがとうございました。大川小学校では11月11日に最後の収穫祭が行われました。43年間続いた収穫祭ということで多くの区民と卒業生が訪れまして、大変盛り上げていただきました。ひとつひとつ行事が終わっていくと寂しさが募ってくるわけですが、閉校まで5カ月を切りました。またこの次は2月となりますが、ソフト面とハード面の両面から環境を整えながら両校の児童や園児がスムーズに良い形で統合を迎えられるようにしていきたいと考えますので、皆様のご尽力をお願いいたします。本日はお疲れ様でした。